

# News Release (1)



【平成 29 年 9 月 21 日 (木) 午後 3 時発表】

## ▼南丹市日吉町郷土資料館秋季企画展 「湖底に眠るふるさとの記憶 - おもいでの一枚の写真 - 」

### ■概要

南丹市日吉町郷土資料館では、日吉ダム建設に伴い、水没した日吉町(現南丹市日吉町)の中・天若地区に暮らしていた人々の生活を後世に伝えるため、展示活動や水没地域から移築したかやぶき民家での体験活動を展開してきました。

本年は、日吉ダム移転者離村式から30年という節目の年になります。ダム建設前の中・天若地区での暮らしや風景などを精力的に撮影された新保隆久氏の写真を中心に、当時生業として使用されていた道具類なども併せて紹介します。在りし日の中・天若地区での暮らしや文化をより多くの方々を知っていただく機会となれば幸いです。

■開催日時 平成29年9月16日(土)～11月26日(日)  
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週火曜日・水曜日

■入館料 大人200円、高校大学生150円、小中学生100円  
〔20名以上の団体は2割引、各種手帳の所持の方及び介添え人1名半額。南丹市内在住の小中学生は無料〕  
※11月19日(日)・23日(木・祝)は「関西文化の日」事業実施のため入館無料。

### ▼この記事に関するお問い合わせ

南丹市日吉町郷土資料館 (電話 0771-68-0069)

日吉ダム移転者離村式 30 周年・平成 29 年度秋季企画展

# 湖底に眠るふるさとの記憶

—おもいでの一枚の写真—



犬の散歩をする少女 (1982 年 4 月、新保隆久氏撮影)

平成 29 年 9 月 16 日 [土] → 11 月 26 日 [日]

開館時間 = 午前 9 時 ~ 午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 = 毎週火・水曜日

入館料 = 大人 200 円 / 高・大学生 150 円 / 小・中学生 100 円

※ 20 名以上の団体は 2 割引 ※ 幼児および南丹市内に在住・在校の小・中学生は無料

※ 身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳を持つ方とその介護者は半額

※ 11 月 19 日 [日]・23 日 [木・祝] は「関西文化の日」事業実施のため入館無料

## 南丹市日吉町郷土資料館

〒629-0334 京都府南丹市日吉町天若登地谷 7 / Tel: 0771-68-0069 / Fax: 0771-72-1130

【交通案内】京都縦貫自動車道「園部 IC」左折、府道 19 号園部平屋線を直進、南丹市日吉町内「日吉大橋」を右折、「スチールの森京都」内。  
※ 公共交通を利用してお越しになれる方は、バスの時刻等に制約がありますのでご注意ください。



南丹市日吉町郷土資料館

# 湖底に眠る ふるさとの記憶

南丹市日吉町郷土資料館では、日吉ダム建設にともない水没した日吉町（現南丹市日吉町）の中・天若地区に暮らしていた人々の生活を後世に伝えるため、展示活動や体験活動などを展開してきました。特に、天若地区にあった民家を移築した2棟のかやぶき民家はそのシンボリックな存在となっています。

本年は、日吉ダム移転者離村式から30年という節目の年です。ダムが建設される以前は154世帯、約500人の人々がこの地で生活をしていましたが、移転された人々の世代交代も進み、水没した地域の記憶も薄れはじめています。

本展では、ダム建設前の中・天若地区での暮らしや風景などを精力的に撮影された新保隆久氏の写真を中心に、当時生業として使用されていた道具類などもあわせて紹介します。ありし日の中・天若地区での暮らしや文化を離村された人々だけでなく、より多くの方々に知っていただく機会となれば幸いです。



子守り（1980年代、新保隆久氏撮影）



厄神さん（1950年代）



天若保育所（1957年4月）



談笑のひとつき（1983年5月、新保隆久氏撮影）



川遊び（1983年7月、新保隆久氏撮影）



枝打ち（1984年11月、新保隆久氏撮影）



離村式（1983年3月、新保隆久氏撮影）



山仕事の道具（当館蔵）



筏師の仕事着・タチカケ（当館蔵）



筏師の仕事着・ハンテン（当館蔵）